

現場訪問 ●郵便事業(株)

安全最優先の集配業務を徹底するための指導者づくり

郵便事業(株)は年間250億通の郵便物の配達を担い、全国に郵便サービスを提供する会社である。同社は全国に1091の支店があり、配達など集配業務のために9万台のバイクを活用している。そのため、集配業務を担当する社員の交通安全防止に積極的に取り組んでいる。

「私たちは日々、国民の財産である道路を利用して、郵便物をお客様にお届けしています。『防衛運転の励行で安全最優先の集配業務を徹底しよう!』をスローガンに掲げ、事故防止は重要な課題としてとらえています」と、同社コンプライアンス部門安全推進部長 磯崎征司さん。



郵便事業(株)コンプライアンス部門安全推進部長 磯崎征司さん



新人役となったインストラクターの運転を受講者が評価して、不適切な箇所を改善するためのアドバイスを



新人役となったインストラクターの運転を受講者が評価して、不適切な箇所を改善するためのアドバイスを

「期間雇用社員には、トレーニングセンターで研修を受ける最初の段階で、正しいバイクの運転を伝えることが大切です。そのため、トレーニングセンターの指導者が

「正しい運転とは何か」を再確認しておく必要があると考え、鈴鹿サーキット交通教育センターと協力して研修内容を作成しました」と磯崎さんはいう。

さらに入社時だけでなく、各支店が継続的に安全運転指導ができる体制づくりを進めている。3月からは各支店のリーダークラスの社員にも同様の研修会を開始。3月17、18日には、郵便事業(株) 東海支社が鈴鹿サーキット交通教育センターで研修会を開催した。

受講者は1日目に、運行前の日常点検、正しい乗降車の仕方と運転姿勢などを学び、制動や一本橋(低速バランス)、パイロンスラロームといった課題に取り組みだ。2日目は受講者が指導者役となり、具体的な指導方法を身につける。交通教育センターのインストラクターが新人役になり、バイクで走行。インストラクターは、わざと不適切な運転をする。それを見た受講者は問題点を指摘し、アドバイスを言う。そして、相手にわかりやすく伝えるためにはどのようにアドバイスすべきか、インストラクターが解説した。



実技では見通しの悪い交差点など、注意箇所の走行方法を確認



「指導者は信念を持って安全を伝えてほしい」とインストラクターは受講者に伝えた

TOPICS



楽しく交通ルールが身につくアトラクション「コチラドライビングスクール」

鈴鹿サーキットの遊園地「モータピア」内に、3月6日、NEWブッチタウンがオープンした。コチラのブッチタウンは2000年の誕生以来、「子どもが主役をコンセプトに」「自分の意志で遊びを創造する」という鈴鹿サーキットオリジナルのモビリティタウンとして、多くのお客様に親しまれてきた。

2 ●鈴鹿サーキット「モータピア」NEWブッチタウンオープン 遊びながら交通安全に関する遊園地

NEWブッチタウンでは、遊びながら知らず知らずのうちに交通安全に対するルールやマナーが身につくように工夫された「コチラドライビングスクール」、モータピアの「世界最高峰レースF1(フォーミュラワン)」などを開催する鈴鹿サーキット・レーシングコースの魅力と要素を取り入れた「ブッチグランプリ」など、鈴鹿サーキットの遊園地ならではのアトラクションが満載となっている。「コチラドライビングスクール」は、教習車に乗って信号や標識を守ったり、思いやりの運転をすることでポイントを獲得していくアトラクション。一緒に乗る親が教習所の先生になって、交通安全を伝えるというもの。合計ポイントによって、普通、ゴールド、プラチナ免許証が発行され、楽し



(株)モビリティランド 山所 敏樹さん

く遊びながら交通安全ルールを身につけることができる。「モータピア」を研究開発している(株)モビリティランド テックプロ所長の山所敏樹さんは「子どもの健全な成長には『自発性』『創造性』『社会性』が不可欠です。それらを身につけるためには、『感じる(体感)』『競う(競争)』『真似る(模倣)』『作る(創造)』という、子どもが夢中になる要素が必要と考えられています。NEWブッチタウンは、この4つの要素を盛り込み、将来を担う子どもにもモビリティへの興味を醸成する、交通社会への順応性を育成する、モビリティを通して子どもの自立に寄与する役割を担っています。子どもが主役。そして、親子や家族で協力しあえばもっと楽しい遊園地です」と話す。



「ブッチグランプリ」はミニサーキットコースでモータスポーツの魅力味わえる

※NEWブッチタウンの詳細は以下ホームページを参照。http://www.suzukacircuit.jp/putitown_s/



応急バンク修理キットの使い方を実演

1 ●ホンダカーズ東京中央野沢店「安全運転講習会」 お客様にクルマや自転車の安全走行を伝える

2月20日、ホンダカーズ東京中央野沢店にて、お客様を対象とした「安全運転講習会」が開催され、約20名のお客様が参加した。最初は、応急バンク修理キットの使い方を実演。最近では、スベアタイヤに代わり、環境に配慮して重量の軽いキットがクルマに装着さ

れるケースがある。参加者は、キットを使う際の注意点を積極的に質問しながら学んだ。スタッフからは、「日頃から空気圧やタイヤの傷等をチェックし適正な状態を保つことで、事故防止やエコドライブにも効果的です。キットは、クルマを安全な場所に停車させて使ってください。釘などが刺さった場合には、抜かずにそのままお近くのホンダ販売店に持ち込んで大丈夫です」と説明を行った。

続いては、エコドライブについて。エコドライブは安全運転にも効果があることをスタッフの説明。参加者は、店内に設置されたホンダセーフティナビを使って、自分の運転がエコドライブかどうか、エコドライブ診断にチャレンジした。

また、店舗内には、ホンダ自転車シミュレーターも設置されており、参加者は歩道の走行や後方確認など、確認した。



Hondaセーフティナビを使ったエコドライブ診断

Honda自転車シミュレーターを使って自転車のルールやマナーを確認 ※Hondaセーフティナビは「環境」と「安全」にやさしい運転を楽しく学習するための安全運転教育用ソフト。詳しくは以下ホームページを参照。http://www.honda.co.jp/simulator/safetynavi/

3 ●Hondaドライビングシミュレーター・フルモデルチェンジ 指導員から受講者へ充実したアドバイスを実現する 進化したHondaドライビングシミュレーター



「危険場面解説機能」画面

新型のドライビングシミュレーターは、危険に対する認知力や理解力をさらに高めていただけるよう、運転中に起こる可能性が高い危険場面での注意点や安全運転のアドバイスを、画像や文字でわかりやすく解説する「危険場面解説機能」などを新たに追加した。これにより、指導員のよりきめ細かく、的確な指導を実現する。また、高画質な液晶ディスプレイを採用することで、より実際に近い運転感覚の体験が可能になった。



フルモデルチェンジしたHondaドライビングシミュレーター

●お問合せ：本田技研工業(株) 安全運転普及本部 教育機器課 担当：太田 TEL 048(452)0559